| 事業所名 | 放課後等デイサービス ロップ | 支援プログラム | 作成日 | 2025 年 | 2 月 | 10 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| | | |
|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | | 児童が将来、穏やかな社会生活を送れるように支援を行う。<br>【ロップ】〇充実した従業員の育成の実行 〇児童の成長を第一に考えた柔軟な療育環境づくり<br>【ステップ】〇豊富な社会体験ができる環境づくり 〇経験から自覚を促す療育<br>【ジャンプ】〇穏やかな社会生活に向けた療育 〇成長と自信を身につく療育 |
| 支援方針 | | ・専門性を持ったスタッフによる発達の土台作り<br>・子ども達の自主性を大切にした「遊び」をメインとした発達支援<br>・子育て支援などを含めた保護者様との協力体制の構築 |
| サービス提供時間 | | 学校登校日 13 時 30 分から 17 時 00 分まで<br>学校休業日 10 時 00 分から 16 時 00 分まで<br>送迎実施の有無：あり |
| | | 支　援　内　容 |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康状態の把握：来室時の検温、アレルギーへの対応、その他活動中の心身状態の変化に応じた対応による健康的な生活の維持<br>基本的生活スキルの獲得：食事、排泄など日常生活動作が獲得を目指した支援<br>安全性：安心、安全を目指した環境設定。過敏な感覚への配慮、安全性に配慮した環境設定、非常災害への準備・訓練 |
| | 運動・感覚 | 姿勢と運動：適正な筋緊張、身体的に無理のない姿勢作り、粗大運動、手指などの微細運動の獲得<br>感覚特性への支援：JSI-Rなどの客観的評価を基にした特性の把握と、感覚特性に配慮した環境設定や支援の提供 |
| | 認知・行動 | 認知の発達：感覚統合による脳の素地作りによる人間脳（大脳）へのアプローチ<br>適切な行動の形成：望ましくない行動を適切な行動・遊びに置き換える支援<br>認知特性への配慮：一人一人の認知特性、認知レベルに合わせたやり取りやコミュニケーションによる本人にとって「わかる」支援 |
| | 言語<br>コミュニケーション | コミュニケーション能力の獲得：本人の使えるコミュニケーション手段を基に、その種類や幅が広がるような支援<br>グループ活動：室内外問わず、集団レクや集団行動の機会の確保 |
| | 人間関係<br>社会性 | 信頼関係の構築：本人にとっての安心、安全を確保するためのスタッフとの信頼関係構築<br>自己理解と自己肯定感の育成：「できた」「わかる」機会を増やし、苦手なことも「ここまでできた」を評価することでの自己肯定感の維持向上<br>ソーシャルスキルの獲得と社会適応：外出時の交通ルール、買い物レクなど、社会のルールに触れ、経験を積むことでの社会スキルの獲得 |
| 家族支援 | | ・日々の連絡帳や送迎時の申し送りで、日々のお困りごとへの相談支援<br>・個別の面談によるお子様の状態像の共通理解、ご家庭と施設での関わり方の統一など、保護者様との連携を大切にした支援 |
| 移行支援 | | ・必要に応じて進学先、進路先の選択について相談援助<br>・学校やその他生活環境に関わる機関との連携 |
| 地域支援・地域連携 | | ・児童館や図書館といった地域施設の利用<br>・必要に応じた相談支援事業所、学校などの関係機関との連携 |
| 職員の質の向上 | | ・内部、外部研修によるスキルアップ<br>・個別のケース会議や定例会での支援方法の共有 |
| 主な行事等 | | ・公園や室内遊園地、動物園、水族館等への外出支援<br>・お花見、ハロウィン、クリスマスなどの季節に応じたイベントプログラム<br>・宿泊学習（夏） |